

4. 受動態

1.

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(1) 夕食は今、彼女によって料理されています。

(is / by / . / cooked / now / being / dinner /
her)

(2) その仕事はちょうど終わられたところです。

(work / finished / . / has / just / the / been)

[解答]

- (1) Dinner is being cooked by her now.
- (2) The work has just been finished.

Note

4. 受動態

1. 受動態の時制

- (1) 夕食は今、彼女によって料理されています。

Dinner is being cooked by her now.

↑
進行形の受動態

be 動詞+being+過去分詞
「～されているところです」

↑
「彼女によって」

by ~ 「～によって」

受動態の基本は中学で学習する内容ですが、主に次のようでした。

受動態の形… 〈be 動詞+過去分詞〉

意味… 「～される、～られる」〔動作〕

「～されている、～られている」〔状態〕

This house was built by my father.

(この家は私の父によって立てられました。)

そして基本の時制は次のようになっています。確認してください。

受動態の時制…be 動詞で表す。

- ① 現在：〈is / am / are + 過去分詞〉「～される」
- ② 過去：〈was / were + 過去分詞〉「～された」
- ③ 未来：〈will be + 過去分詞〉「～されるだろう」

- ① Her novel is read by a lot of young people.
(彼女の小説は多くの若者に読まれている。)
- ② The play was postponed till next Monday.
(その劇は次の月曜日まで延期された。)
- ③ A new building will be built here next year.
(新しいビルが来年ここに建てられるだろう。)

また、助動詞を含む受動態は次のようになっています。

助動詞を含む受動態：〈助動詞 + be + 過去分詞〉

Old houses can be seen from here.
(古い家々がここから見られる。)

さらに高校内容では、次のような受動態の進行形が出てきます。

受動態の進行形：〈be 動詞 + being + 過去分詞〉
「(今) ～されているところだ」
主語が動作を受けている最中であることを表す。

A new building is being built now.
(今、新しいビルが建てられているところだ。)[現在進行形]

A new building was being built now.
(今、新しいビルが建てられているところだった。)[過去進行形]

(1)の問題は、「料理されています」となっていますので、受動態の進行形を作って、is being cooked の語順を作りましょう。

Note

(2) その仕事はちょうど終わられたところです。

The work has just been finished.

完了時制の受動態
have been + 過去分詞
「～されたところだ」

just 「ちょうど」
過去分詞の前に置く。

また、受動態の完了形は次のようになります。

受動態の完了形：〈have [has/had] been + 過去分詞〉

A new building has just been built here.

(新しいビルがちょうどここに建てられたところだ。)

The new building will have been completed by April.

(4月までにはその新しいビルは完成されているだろう。)

(2)の問題は「…終わられたところです」となっているので、has been finished の語順を作ります。「ちょうど」の just は過去分詞 been の前に置きましょう。

ここで受動態の時制をまとめると次のようになります。確認してください。

[受動態の時制のまとめ]

	受動態	受動態の進行形	受動態の完了形
現在	is [am/are] + 過去分詞	is [am/are] being + 過去分詞	have [has] been + 過去分詞
過去	was [were] + 過去分詞	was [were] being + 過去分詞	had been + 過去分詞
未来	will be + 過去分詞	will be being + 過去分詞	will have been + 過去分詞

2.

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(1) 私は外で1時間待たされた。

(outside / was / an / for / I / . / wait / made /
hour) [1 語補充]

(2) 彼女はその歌を歌うのをみんなに聞かれた。

(sing / was / everyone / . / she / the / by /
heard / song) [1 語補充]

(3) 彼は母親から熱心に勉強するように言われました。

(told / his / study / mother / he / . / by / hard /
to / was)

(4) 彼女は正直だと言われている。

(said / honest / is / is / . / it / she / that)

[解答]

- (1) I was made to wait outside for an hour.
- (2) She was heard to sing the song by everyone.
- (3) He was told to study hard by his mother.
- (4) It is said that she is honest.

Note

2. 受動態と文型

(1) 私は外で1時間待たされた。

I / was made to wait / outside / for an hour .

↑
be made to ~ 「～にさせられる」
make A do 「A に～させる」の受動態

↑
「外で」

↑
「1時間」

使役動詞の make は能動態では、

主語 + make + 目的語 + 動詞原形 「主語は目的語に～させる」

で使いますが、これを受動態にすると、能動態の目的語を主語にして

主語 + be made **to** + 動詞原形 「主語は～させられる」

の形になります。動詞原形の前に **to** が必要なことに注意して下さい。つまり、動詞の原形が不定詞になるということです。

He made me repeat the story. [能動態]

(彼は私にその話を繰り返させた。)

I was made to repeat the story by him. [受動態]

(私は彼にその話を繰り返させられた。)

ただし、使役動詞の **have** や **let** は通例、受動態にはしないことに注意しましょう。

使役動詞の **have** や **let** は受動態にしない。

(1)の問題では、「…待たされた」ですので、**was made to wait** の語順を作ります。**to** の語を補充してください。

Note

(2) 彼女はその歌を歌うのをみんなに聞かれた。

She was heard to sing the song by everyone.

be heard to + 動詞の原形

「～するのを聞かれる」

hear A + 動詞の原形

「Aが～するのを聞く」の受動態

「～を歌う」

「みんなに」

see や hear、feel などの知覚動詞は能動態では、

主語 + 知覚動詞 + 目的語 + 動詞原形

「(目的語)が～するのを見る[聞く、感じるなど]」

で使いますが、これを受動態にするには、能動態の目的語を主語にして、

主語＋be 動詞＋知覚動詞の過去分詞＋ **to** ＋ 動詞原形
「主語は～するのを見られる[聞かれる、感じられるなど]」

の形になります。やはり、動詞原形の前に to が必要、つまり不定詞になることに注意して下さい。

He saw me go out of the room. [能動態]

(彼は私とその部屋から出て行くのを見た。)

I was seen to go out of the room. [受動態]

(私は彼にその部屋から出て行くのを見られた。)

(2)の問題では、「…歌うのを…聞かれた」となっていますので、**was heard to sing** の語順を作りましょう。to の語を補充することになります。

なお、〈知覚動詞＋目的語＋現在分詞〉の受動態では、現在分詞はそのまま知覚動詞の過去分詞の後に置かれて、to は不要であることに注意して下さい。

〈知覚動詞＋目的語＋現在分詞〉の受動態では、
現在分詞はそのまま。

He heard me singing the song. [能動態]

(彼は私とその歌を歌っているのを聞いた。)

I was heard singing the song by him. [受動態]

(私は彼にその歌を歌っているところを聞かれた。)

Note

(3) 彼は母親から熱心に勉強するように言われました。

He was told to study hard by his mother.

be told to + 動詞の原形
「～するように言われる」
tell A to + 動詞の原形
「A に～するように言う」の受動態

「熱心に」

中学英語の不定詞で出てきた〈tell ~ to …〉「～に…するように言う」や〈ask ~ to …〉「～に…するように頼む」などの受動態は、目的語を主語にして、〈be 動詞 + 過去分詞〉の後に to 不定詞を続ける形になります。

tell A to ~ 「A に～するように言う」〔能動態〕

→ A be told to ~ 「A は～するように言われる」〔受動態〕

ask A to … 「A に…するように頼む」〔能動態〕

→ A be asked to ~ 「A は～するように頼まれる」〔受動態〕

She told me to wait outside.

(彼女は私に外で待つようにと言った。)

I was told me to wait by her.

(私は彼女に外で待つようにと言われた。)

(3)の問題は「…勉強するように言われました」なので、was told to study の語順を作りましょう。

Note

(4) 彼女は正直だと言われている。

It is said that 「she is honest.」

仮主語
後の that を
受ける

接続詞 that

「正直な」

「～だと言われている」 say (言う) - said - said

They say that ～ 「～と言われている」の文では、次のように2種類の受動態が作れます。(Sは「主語」、Vは「動詞」を表しています。)

- ① It is said that S V ～.
- ② S is said to do ～.

They say that the name comes from Spanish. [能動態]
(その名前はスペイン語から来ていると言われている。)

- ① It is said that the name comes from Spanish.
- ② The name is said to come from Spanish.

この形をとる動詞には、say, think, consider, suppose, believe などがあります。

(4)の問題は「…だと言われている」なので、It is said that の形で文を始めましょう。

なお、「～だったと言われている」は〈S is said to have + 過去分詞 ～〉の形になります。つまり、to の後に完了形を持ってくるということです。

The famous actor is said to have lived in this house.
(有名な俳優がこの家に住んでいたと言われている。)

3.

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(1) ブドウは加工されてワインになる。

(are / wine / . / grapes / made) [1 語補充]

(2) 私はその結果に満足した。

(. / was / result / the / I / satisfied) [1 語補充]

(3) 彼は漫画本を読むことに夢中になっていた。

(reading / . / was / comic / he / absorbed /
books) [1 語補充]

[解答]

- (1) Grapes are made into wine.
- (2) I was satisfied with the result.
- (3) He was absorbed in reading comic books.

Note

3. 受動態の慣用表現

(1) ブドウは加工されてワインになる。

Grapes are made into wine.

↑
「ブドウ」

↑
be made into ~
「(加工されて)~になる」

by 以外の前置詞を使う受動態の慣用表現は、中学内容のものも含めて主に次のようなものがあります。

be covered with ~	「~でおおわれている」
be filled with ~	「~でいっぱいである」
be born in ~	「~で[に]生まれる」
be killed in ~	「~(事故・戦争など)で亡くなる」
be known to ~	「~に知られている」
be known as ~	「~として知られている」
be known for ~	「~で知られている」
be known by ~	「~で判断される、~でわかる」
be made of ~	「~で作られている」〈材料…材質に変化なし〉

be made from ～ 「～で作られている」〈原料…材質が化学変化〉
be made into ～ 「～(加工されて)～になる」
be caught in～ 「～(にわか雨など)にあう」

She is known as the best singer in this country.

(彼女はこの国で一番上手な歌手として知られている。)

Osaka is known for takoyaki.

(大阪はたこ焼きで知られている。)

A man is known by the company he keeps.

(人は付き合い合う友だちで判断される。)

He was caught in a shower.

(彼はにわか雨にあった。)

(1)の問題は「…は加工されて…になる」なので、be made into の慣用表現を使いましょう。into を補ってください。

Note

(2) 私はその結果に満足した。

I was satisfied with the result.

be satisfied with ~
「～に満足する」

「結果」

英語では、「喜ぶ」や「怖がる」などの感情などを表す動詞のほとんどは、「[物事が] [人を] ～という心理状態にさせる」の意味になっています。これを、人を主語にして「[人が] ～という気持ちになる」の文を作るときは「[人が] ～という気持ちにさせられる」と考えて、受動態の文になります。

そうした感情を表す受動態の表現には次のようなものが挙げられます。

be satisfied with ~	「～に満足している」
be pleased with ~	「～に喜んでいる」
be interested in ~	「～に興味を持っている」
be disappointed at ~	「～にがっかりしている」
be worried about ~	「～を心配している」
be absorbed in ~	「～に没頭している」
be convinced of ~	「～を確信している」
be annoyed at [about] ~	「～にいらいらしている」
be scared of ~	「～を怖がっている」
be surprised at ~	「～に驚いている」
be amazed at ~	「～に驚いている」

(2)の問題は「…に満足した」ですので、be satisfied with を使って英文を作りましょう。with を補充することになります。

Note

(3) 彼は漫画本を読むことに夢中になっていた。

He was absorbed in reading comic books.

be absorbed in ~
「～に夢中になる、没頭する」

「漫画本」

(3)の英文では「…に夢中になっている」ですので、be absorbed in を使って文を作ります。in を補充しましょう。

